

令和 年 月 日

日本特用林産振興会会長 殿

事業体等名称
住 所
代表者氏名

令和7年度特用林産物の国際競争力強化・生産性向上対策事業
(需要拡大や生産性向上に向けたモデル的取組の支援)

提案申請書

標記について、「需要拡大や生産性向上に向けたモデル的取組の支援」に係る公募要領に基づき申請します。

記

- 1 申請する助成金額 金 _____ 円
- 2 消費税の適用に関する事項(該当するものに○)
 - (1) ア 消費税額を助成対象経費に含めないで国庫補助所要額を算定
イ 消費税額を助成対象経費に含めて国庫補助所要額を算定
 - (2) (1)でイを選択した理由
ア 免税事業者である
イ 簡易課税事業者である
ウ 消費税法別表第3に掲げる法人である
エ ア～ウ以外の者であって、消費税仕入控除税額の報告及び返還を選択する
- 3 事業実施事業体等の概要
別紙のとおり
- 4 事業計画書提案書
別添のとおり(様式第2号)
- 5 事業概念図
別添のとおり(様式第3号)

(別紙) 事業実施事業体等の概要

事業体等の名称		
代表者名		
所在地等	住所	
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
本事業の実施体制等	担当者名	
	経理規程等の有無	(有)・(無)
組合員又は構成員数		
最近の事業内容等	(特用林産物の生産量等)	
過去の類似した補助事業の実施状況	(実施年度、事業名、補助対象者数、補助額等を記載する)	

※定款、寄付行為、役員名簿、事業体等の収支計算書、パンフレット等を添付すること。

[様式第2号]

**令和7年度特用林産物の国際競争力強化・生産性向上対策事業
(需要拡大や生産性向上に向けたモデル的取組の支援)
事業計画提案書**

1 事業計画

実施事業の名称	
1 事業の目的	
1) 事業の目的	(現状の問題を踏まえ、なぜ取り組む必要があるのかを具体的に記載して下さい)
2) 事業で設定する課題	(問題を解決するための課題を具体的に、箇条書きで記載して下さい)
2 課題解決方法と事業計画	
1) 課題解決の方法	(課題をどのように解決する予定なのか具体的に記載して下さい)
2) 実施計画等	(事業計画等をなるべく詳細に記載して下さい)
3 予定成果	
1) 予定成果物	(提出予定の具多的な成果物の内容を記載して下さい)
2) 本事業で得られる効果	(本事業を実施することで得られる効果を具体的に記載して下さい)

記載例

**令和7年度特用林産物の国際競争力強化・生産性向上対策事業
(需要拡大や生産性向上に向けたモデル的取組の支援)
事業計画提案書**

1 事業計画

実施事業の名称	しいたけほだ場へのリモートセンシング導入事業
1 事業の目的	
1) 事業の目的	(現状の問題を踏まえ、なぜ取り組む必要があるのかを具体的に記載して下さい) ほだ場が離れていることに加えて傾斜地であるため、ほだ木の状態を確認することが重労働であり、後継者確保の障害のひとつになっている。このためリモートセンシング技術を導入し、労働の軽減を図る。
2) 事業で設定する課題	(問題を解決するための課題を具体的に、箇条書きで記載して下さい) ・労働条件の改善 ・データの収集や画像による収穫適期の予測 ・労働資源の適正配分
2 課題解決方法と事業計画	
1) 課題解決の方法	(課題をどのように解決する予定なのか具体的に記載して下さい) ほだ場に温度・湿度計等を設置して各地点のデータを記録するとともに、複数台設置したカメラにより発生状況を確認することで、栽培管理や集中発生等に対応する。
2) 実施計画等	(事業計画等になるべく詳細に記載して下さい) ○機器の検討、設置計画の作成 ・2024年7月、導入機器の選定 ・8月、リースした機器の設置 ・12月秋子発生への評価 ○機器の導入とデータ収集 ・9～11月 システムの導入と 実地試験
3 予定成果	
1) 予定成果物	(提出予定の具多的な成果物の内容を記載して下さい) 報告書の作成、収集データ一式
2) 本事業で得られる効果	(本事業を実施することで得られる効果を具体的に記載して下さい) ほだ場の行き来に要していた労力を軽減するとともに、その時間を他の業務に振り向けて労働資源の適正配分と、栽培管理の効率化を実現する。

2 事業予算書

実施事業の名称		
事業費、助成金額、 その他自己負担額	事業費(消費税込) :	円
	助成金額 :	円
	その他自己負担額(消費税込):	円
項 目	助成金額	備 考
(1)賃金		
(2)謝金		
(3)旅費		
(4)需用費		
(5)役務費		
(6)委託費		
(7)使用料及び賃借料		
計		

※上記助成金額は、税抜・税込である。(いずれかに○をすること。)

(注)

- 1 各費目の内容については「別表 助成対象経費」を参照のこと
- 2 助成金額「計」には、千円未満を切り捨てた金額とすること